

令和4年度 事業報告書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

令和４年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、第６次長泉町地域福祉活動計画及び令和４年度の事業計画に基づき、「いきいきとした暮らしを支える 優しい ながいずみ」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、令和４年４月１日から令和５年３月３１日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和５年 ５月２６日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 芹 澤 和 代

令和4年度 事業報告書 目次

ページ

I 社会福祉事業

1 法人本部拠点区分

1-1 法人運営事業	1
1-2 地域福祉活動事業	15
1-3 福祉総合相談事業	30
1-4 共同募金助成金事業	35
1-5 手話通訳者派遣事業	38
1-6 小口資金貸付事業	41
1-7 生活支援体制整備事業	42
1-8 権利擁護推進事業	45

2 老人福祉センター拠点区分

2-1 福祉会館事業	47
------------	----

3 介護サービス事業拠点区分

3-1 居宅介護支援事業	55
3-2 指定通所介護事業	58
3-3 指定認知症対応型通所介護事業	62
3-4 指定訪問介護事業	65
3-5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	67
3-6 移動支援事業	68
3-7 地域活動支援センター事業	69

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター拠点区分

1-1 在宅福祉総合センター事業	71
1-2 在宅福祉総合センター食堂事業	77

事業報告の附属明細書	81
------------	----

I 社会福祉事業

1 法人本部

1-1 法人運営事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策 3 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（令和 5 年 3 月 31 日現在）

令和 4 年度	会員数	会費収入
普通会员	12,135 口	3,640,500 円
特別会員	252 口	252,000 円
合 計	12,387 口	3,892,500 円
前年比	△14 口	△11,200 円

(2) 会員数の推移

年 度	令和 3 年度	令和 2 年度	平成 31 年度
普通会员	12,139	12,280	12,257
特別会員	262	263	245
合 計	12,401	12,543	12,502
会費収入	3,903,700 円	3,947,200 円	3,922,000 円

【事業の進捗状況】

前年比、普通会员 4 口 特別会員 10 口 計 14 口の減となった。

引き続き、皆様からお寄せいただいた会費がどのように活用されているか、広報やチラシを通して事業を紹介するとともに、本会ホームページで会費についての Q & A を掲載し、会費に対する十分な理解が得られるよう啓発に努める。

2 定款・規程等の整備

(1) 規程等の整備

- ① 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会福祉教育実践校事業要綱の一部改正
助成金の手続きの中で、上限額や提出期限、助成金の交付の流れが整理されていないことから、これを定めることにより、助成対象者に手続き方法を明確にし、助成金交付事務の適正化を図るため、要綱の一部改正を行った。
(令和 4 年 7 月 1 日施行)

② 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正

公務員を対象とした不妊治療と仕事の両立を支援するための「出生サポート休暇」の新設に合わせ、非常勤職員の妊娠、出産及び育児と仕事の両立を支援するため、配偶者出産休暇・育児参加のための休暇を新設するとともに、産前休暇、産後休暇を有給化した。また介護サービスに従事する介護職員の賃金改善に充てることを目的とした処遇改善加算金を定額支給とするため、規程の一部改正を行った。(令和4年12月1日施行 令和4年10月1日適用)

③ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業実施要綱の一部改正

長泉町において多様な性のあり方に配慮した取り組みとして申請書類等の公文書の性別欄を見直し、誰もが生きやすい社会の実現を目指す取り組みが進められるなか、当会も町に準じた対応として、申請書類の性別欄を削除するため、要綱の一部改正を行った。(令和5年3月1日施行)

④ 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

令和5年度より新たな事業として重層的支援体制整備事業を長泉町から受託するにあたり、受託金の受入れ科目を新設するとともに、既に廃止した事業にかかる予算科目を整理するため規程の一部改正を行った。

(令和5年4月1日施行)

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 出席者理事7名／定数11名

ア 期 日 6月8日(水)

イ 議 題

i 報告事項

第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

ii 決議事項

第2号議案 顧問の委嘱

第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任・解任
委員会委員の選任

第4号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第5号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者
の推薦

第6号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会福祉教育実践校事業
実施要綱の一部改正

第7号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告
の認定

第8号議案 令和3年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算
の認定

第9号議案 令和4年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計

補正予算（第１回）の認定

第 10 号議案 令和 4 年度定時評議員会の開催

第 2 回理事会 出席者理事 8 名／定数 11 名

ア 期 日 11 月 25 日

イ 議 題

i 報告事項

第 11 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任報告

第 12 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告

第 13 号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第 14 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

ii 決議事項

第 15 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦

第 16 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程の一部改正

第 17 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 2 回）の認定

第 18 号議案 令和 4 年度第 1 回臨時評議員会の開催

第 3 回理事会 出席者理事 10 名／定数 11 名

ア 期 日 3 月 16 日

イ 議 題

i 報告事項

第 19 号議案 長泉町指定地域密着型サービス事業者等の運営指導の結果及び報告

ii 決議事項

第 20 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第 21 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦

第 22 号議案 消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

第 23 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業実施要綱の一部改正

第 24 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

第 25 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 3 回）の認定

第 26 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第 27 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

第 28 号議案 長泉町指定管理事業に伴う外部委託業務の長期継続契約

- 第 29 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算
の執行及び契約の締結
- 第 30 号議案 役員等賠償責任保険の契約
- 第 31 号議案 令和 4 年度第 2 回臨時評議員会の開催

(2) 評議員会

定時評議員会 出席者 13 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 24 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会福祉教育実践校事業実施要綱の一部改正

ii 決議事項

第 2 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員の選任

第 3 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告
の承認

第 4 号議案 令和 3 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算
の承認

第 5 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正
予算（第 1 回）の承認

第 1 回臨時評議員会 出席者 15 名／定数 15 名

ア 期 日 12 月 5 日（月）

イ 議 題

i 報告事項

第 6 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告

第 7 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

第 8 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会嘱託等の就業規程
の一部改正

ii 決議事項

第 9 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 2 回）の承認

第 2 回臨時評議員会 出席者 14 名／定数 15 名

ア 期 日 3 月 24 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

第 10 号議案 長泉町指定地域密着型サービス事業者等の運営指導の結果及び報告

第 11 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会ひとり暮らし高齢者福祉電話設置事業実施要綱の一部改正

第 12 号議案 役員等賠償責任保険の契約

第 13 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第 14 号議案 消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

第 15 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

ii 決議事項

第 16 号議案 令和 4 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 3 回）の承認

第 17 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第 18 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

(3) 評議員選任・解任委員会

第 1 回委員会 出席者 2 名／定数 3 名

ア 期 日 6 月 8 日（水）

イ 議 題 第 1 号議案 評議員 3 名の選任

第 2 回委員会 出席者 3 名／定数 3 名

ア 期 日 11 月 25 日（金）

イ 議 題 第 2 号議案 評議員 1 名の選任

第 3 回委員会 出席者 3 名／定数 3 名

ア 期 日 3 月 17 日（金）

イ 議 題 第 1 号議案 評議員 2 名の選任

4 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 監事監査

① 令和 3 年度決算監査

ア 期 日 5 月 27 日（金）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 14 名

② 令和 4 年度中間監査

ア 期 日 11 月 11 日（金）

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 11 名

5 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げサービスの改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	秋山 勉
苦情受付担当者	尾崎弘人、勝又和佳子
第三者委員	大嶋優子、渡邊知明

(第三者委員任期：令和3年4月26日から令和5年4月25日まで)

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

(3) 福祉サービスに関する苦情解決取扱状況について

No.	区 分	内 容
1	日 付	11月24日（木）11時15分頃
	内 容	マイクロバス運転手の態度に対する苦情（匿名）
	場 所	池田区地先
	対 応	運転手に苦情のもととなった事実があったことを確認した上で態度を改めるよう忠告し、運転手も理解を示した。

【事業の成果、課題】

当期の苦情、要望件数は1件であった。今期発生した苦情は施設外の勤務中のことであるため運営者側でも把握しにくい事案であるが、社会福祉協議会の職員としての意識向上を図り、適正な福祉サービスの提供ときめ細かな意見、苦情、要望への対応に努めていきたい。

6 組織体制の整備と職員の資質向上

適正な職員配置による組織運営に努めたほか、研修への参加を通して職員の資質向上を図るとともに、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 年度当初における職員数の比較 (単位：人)

	正 規	嘱 託	パート	短時間 パート	登 録	人事交流		合 計
						派 遣	受入れ	
R5.4.1	19	9	3	16	10	1	2	60
R4.4.1	18	7	5	17	10	1	2	60
増減	1	2	▲2	▲1	0	0	0	0

(2) 会議・研修参加状況

外部研修・会議 P9 から P14 参照

(3) 労働安全衛生

① 職員定期健康診断の実施

ア 期 日 8月3日

イ 受診者 37名

② 人間ドックの実施

社会福祉充実計画に基づき、職員の健康保持の充実を目的として人間ドック・脳ドックの受診を推奨し検診費用を助成した。

ア 期 日 9月1日～10月6日

イ 受診者 11名

③ 職員ストレスチェックの実施

1週間の所定労働時間が30時間以上の職員を対象に実施した。

ア 期 日 8月3日

イ 受検者 33名

7 社会福祉充実計画

令和2年度決算において社会福祉充実残額が算定されたため、社会福祉充実計画を作成し、静岡県知事の承認を受けて計画に基づいて事業を実施した。

- (1) 社会福祉充実残額 6,440,000 円
- (2) 計画年度 令和3年度から令和5年度まで
- (3) 令和4年度計画内容
 - ①地域ささえあい活動推進事業
 - ②専門職配置安定化事業
 - ③職員健康保持充実事業
 - ④職員育成事業

令和3年度の計画と実績

事業名	事業費	実績額	差額 (事業費-実績額)
地域ささえあい活動推進事業	600,000	600,000	0
専門職配置安定化事業	400,000	400,000	0
職員災害対応機能整備事業	1,190,000	649,658	540,342
職員健康保持充実事業	750,000	702,247	47,753
職員育成事業	180,000	158,100	21,900
合 計	3,120,000	2,510,005	609,995

令和4年度の計画と実績

事業名	事業費	実績額	差額 (事業費-実績額)
地域ささえあい活動推進事業	450,000	450,000	0
専門職配置安定化事業	400,000	400,000	0
職員健康保持充実事業	750,000	584,825	165,175
職員育成事業	120,000	116,326	3,674
合 計	1,720,000	1,551,151	168,849

8 その他

(1) アルコール検知器の設置

令和4年10月1日からアルコール検知器を用いて運転者の酒気帯びの有無を記録して1年間保存することの義務化に併せて福社会館3階事務室・いずみの郷1階事務室にアルコール検知器を設置した。(※警察庁から義務化延期の発表があったが、本会では職員が各自乗車前後に点検・記録している。)

(2) 事務局収納書庫の設置

福社会館3階事務局机レイアウト変更に伴う収納棚の新設と老朽化した金庫2台の更新を図った。

令和4年度 研修会等参加状況

長泉町社会福祉協議会事務局

◎法人運営事業

日 時	内 容	参加者
5月20日	令和4年度市町社会福祉協議会事務局長会議	事 務 局 長
6月20日	静岡DWAT支部活動検討会【東部支部】	事 務 局 長
7月7日、8日	令和4年度第58回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	職 員 1 名
11月4日	令和4年度健康福祉大会	職 員 1 名 受 賞 者 2 名
11月8日	全老連創立60周年記念全国老人クラブ連合会老人クラブ大会	職 員 1 名 受 賞 者 1 名
11月17日、18日	令和4年度社会福祉法人・施設事務職員税務実務専門講座	職 員 2 名
11月26日、27日	令和4年度社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座面接授業	職 員 1 名
2月27日、28日	令和4年度社会福祉法人決算実務専門講座	職 員 2 名
3月6日	令和4年度市町社会福祉協議会会長会議	会 長、事 務 局 長

◎地域福祉活動事業

日 時	内 容	参加者
4月22日	防災サミット第1回市町社協DX検討事業参加	職 員 1 名
4月28日	令和4年度社会福祉法人等のネットワーク化による協働推進事業担当者会議【WEB】	職 員 1 名
6月22日	令和4年度市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修	職 員 1 名
6月23日	令和4年度静岡県の地域福祉を考えるブロック会議全体会【WEB】	職 員 4 名
6月28日	社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会【WEB】	職 員 1 名
7月28日	令和4年度市町社協福祉教育担当者会議【WEB】	職 員 1 名
8月22日	令和4年度コミュニティソーシャルワークスキルアップ研修【WEB】	職 員 1 名
9月1、2日	いきがい・助け合いサミットin東京【WEB】	職 員 3 名
9月12日	令和4年度要配慮者等に係る意見交換会	職 員 1 名
9月18日	静岡県内手話言語条例大学習会	職 員 1 名
10月27日	民生委員児童委員協議会後期研修随行	職 員 1 名
11月7日	生活支援体制整備事業先進地視察	職 員 1 名
12月5日	生活支援コーディネーター研修【WEB】	職 員 3 名
1月19日	助け合いの輪をひろげるネットワークセミナー（東部地域）【WEB】	職 員 1 名
2月10日	令和4年度静岡県福祉教育推進セミナー【WEB】	職 員 1 名

2月22日	長泉町個別避難計画研修会	職 員	1	名
2月27日	ボランティアコーディネーター研修	職 員	1	名
3月3日	個別避難計画（災害時ケアプラン）作成事業 報告会	職 員	1	名
3月6日	被災者見守り・相談支援事業研修会 ～支え合いセンターの取組から～【WEB】	職 員	2	名
3月16日	令和4年度災害支援活動を行う圏域団体との情報交換会【WEB】	職 員	1	名
3月16日	介護保険制度を活用した移動支援の取組み	職 員	1	名
3月18日	災害時の知恵ぶくろ～要配慮者支援編～	職 員	1	名

◎福祉総合相談事業

日 時	内 容	参加者		
4月22日	静岡県生活困窮者自立支援従事者研修【WEB】	職 員	1	名
4月25日	令和4年度長泉町受理・ケース管理会議	職 員	2	名
4月26日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムブロック会議	職 員	2	名
4月28日	令和4年度社会福祉法人等のネットワーク化による協働推進事業担当者会議【WEB】	職 員	3	名
5月16日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員	4	名
5月19日	静岡県生活困窮者自立支援従事者研修【WEB】	職 員	1	名
5月31日	生活福祉資金担当者会議【WEB】	職 員	1	名
6月10日	沼津地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	職 員	1	名
6月13日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員	3	名
6月22日	成年後見制度市町長申立てに係る実務研修（実務編）【WEB】	職 員	2	名
6月23日	令和4年度静岡県の地域福祉を考えるブロック会議全体会	職 員	2	名
6月24日	令和4年度 重層的支援準備管理会議	職 員	1	名
7月11日	ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム勉強会【WEB】	職 員	3	名
7月25日	社会福祉士実習指導者フォローアップ講習会【WEB】	職 員	2	名
7月29日	SUNTO-TAGATAスタディ・サポートコンソーシアム運営会議	職 員	2	名
8月2. 10. 19日	人権啓発指導者研修【WEB】	職 員	1	名
9月16日	重層的支援県アドバイザー研修	職 員	2	名
10月5日	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修①	職 員	1	名
10月7日	生活福祉資金担当者会議【WEB】	職 員	2	名
10月21日	重層的支援体制整備事業に向けた実例研修	職 員	1	名

11月8日	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修②	職 員	1	名
11月17日	重層的支援事例検討研修会	職 員	2	名
11月24日	生活福祉資金に係るweb会議	職 員	1	名
12月1日	長泉町学習支援関係者間の情報共有・意見交換会【WEB】	職 員	3	名
12月7日	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修③	職 員	1	名
12月12日	生活困窮者自立相談支援事業における勉強会【WEB】	職 員	2	名
12月14日	2市2町成年後見推進委員会	職 員	1	名
12月16日	災害ボランティアセンター研修	職 員	1	名
12月20日	重層的支援準備管理会議	職 員	2	名
1月12日	第2回長泉町学習支援関係者情報交換会【WEB】	職 員	2	名
1月15日	生活困窮者自立相談支援事業における勉強会【WEB】	職 員	3	名
1月20日	包括的相談支援体制構築事業人材養成研修④	職 員	1	名
1月20日	借受人へのフォローアップ支援と家計相談セミナー【WEB】	職 員	1	名
1月25日	令和4年度ひきこもり地域連絡協議会【WEB】	職 員	2	名
1月31日	法テラス障がい者法的支援に関する協議会【WEB】	職 員	2	名
1月31日	成年後見制度利用促進セミナー【WEB】	職 員	1	名
2月2日	社協法人後見・市民後見担当者会議	職 員	2	名
2月3日	借受人へのフォローアップ支援と家計相談セミナー【WEB】	職 員	1	名
2月8日	ふじのくに生活困窮自立支援コンソーシアム運営委員会【WEB】	職 員	1	名
2月13日	生活困窮者自立相談支援事業における勉強会【WEB】	職 員	3	名
2月14日	地域福祉・相談支援担当者合同会議	職 員	2	名
2月24日	生活福祉資金担当者会議【WEB】	職 員	2	名
3月1日	令和4年度日常生活自立支援事業 専門員研修【WEB】	職 員	2	名
3月7日	令和4年度第2回SUNTO-TAGATAスタディ・サポートコンソーシアム運営委員会【WEB】	職 員	2	名
3月7日	法人後見システム説明会【WEB】	職 員	1	名
3月13日	生活困窮者自立相談支援事業における勉強会【WEB】	職 員	2	名
3月14日	2市2町成年後見推進委員会	職 員	2	名
3月23日	後見人等への意思決定支援研修【WEB】	職 員	2	名
3月26日	災害VC立上げ訓練のための研修会	職 員	1	名
3月27日	令和4年度 受理・ケース管理会議	職 員	2	名

令和4年度 研修会等参加状況

いずみの郷

◎居宅介護支援事業

日 時	内 容	参 加 者
4月12日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
5月11日	ながいずみホーム勉強会	職 員 3 名
5月12日	長泉町介護支援専門員連絡協議会	職 員 3 名
5月12日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員 2 名
5月25日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	職 員 1 名
6月2日～8月10日	介護支援専門員更新研修前期【WEB】	職 員 1 名
7月14日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
7月19日	長泉町介護支援専門員研修会「自己覚知について」	職 員 2 名
8月10日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
8月22日	久道医院 転倒予防講習会	職 員 2 名
8月23日	介護支援専門員更新研修後期【WEB】	職 員 1 名
9月12日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
10月8日	ケアマネ全体研修 適切なケアマネジメント（オンライン）	職 員 1 名
10月12日	長泉町介護支援専門員研修会（臨時）	職 員 2 名
10月13日	長泉町介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員 1 名
10月14日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員 1 名
10月18日	わくわくケアの会	職 員 3 名
10月19日	ながいずみホーム 勉強会	職 員 1 名
10月20日	長泉町ケア相談会	職 員 1 名
10月20日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員 1 名
11月17日	長泉町介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員 1 名

11月17日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
12月13日	地域たすけあいフォーラム	職 員	2	名
12月20日	わくわくケアの会	職 員	2	名
1月12日	長泉町介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
1月19日	長泉町ケア相談会	職 員	1	名
1月30日	認定調査員新任研修	職 員	1	名
2月1日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
2月3日	病院と地域医療・介護の連携のための研修会	職 員	1	名
2月16日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員	1	名
2月21日	わくわくケアの会	職 員	3	名
2月22日	個別避難計画研修会	職 員	2	名
2月27日	介護予防ケアマネジメント現任者研修オンデマンド	職 員	1	名
3月3日	長泉町介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
3月7日	介護事業者のための業務継続計画セミナー	職 員	3	名
3月8日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
3月10日	長泉町主任介護支援専門員連絡協議会	職 員	1	名
3月14日	長泉町介護支援専門員連絡協議会役員会	職 員	1	名
3月23日	長泉町ケア相談会	職 員	1	名
3月30日	長泉町在宅医療・介護連携推進会議	職 員	1	名

◎指定通所介護事業・指定認知症対応型通所介護事業

日 時	内 容	参加者
6月2日～9月7日	認知症介護実践者研修	職 員 1 名
12月1日	介護保険サービス提供事業者説明会（集団指導）【WEB】	職 員 1 名
12月17日	実践介護技術支援事業講座「接遇」	職 員 13 名
12月17日	介護技術講習会「移乗・歩行」	職 員 13 名

◎指定訪問介護事業

日 時	内 容	参加者
11月24日	静岡県ホームヘルパー連絡協議会役員会議【WEB】	職 員 1 名
12月15日	長泉町南小体験学習講習会	職 員 1 名
3月9日	BCP作成セミナー【WEB】	職 員 1 名
3月22日	住民助け合い事業講習会	職 員 3 名

◎居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

日 時	内 容	参加者
5月17日	静岡県ヘルパー連絡協議会理事会【WEB】	職 員 1 名
5月24日	長泉町障がい者自立支援協議会第1回事業所部会	職 員 1 名
7月19日	長泉町障がい者自立支援協議会第2回事業所部会	職 員 1 名
9月20日	長泉町障がい者自立支援協議会第3回事業所部会	職 員 1 名
10月4日	ヤングケアラー研修	職 員 1 名
11月9日	長泉町障がい者事業所部会	職 員 1 名
2月14日	長泉町障がい者自立支援協議会	職 員 1 名
2月22日	長泉町障がい者事業所部会防災研修	職 員 1 名

◎在宅福祉総合センター事業

日 時	内 容	参加者
2月27日・28日	令和4年度社会福祉法人決算実務専門講座【WEB】	職 員 2 名

1－2 地域福祉活動事業

令和4年度の地域福祉活動事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と同時にウイルスの弱毒化やワクチン接種が進んだため、感染状況を見ながら、これまで休止となっていた各種事業を再開し始めた年度となった。

重点項目として、①地域で実施される福祉活動の再開②子どもの居場所づくり立上げ支援③災害ボランティアセンター啓発④福祉健康まつりの再開を掲げ、事業を進めた。

【成果】小地域福祉活動などで活動を再開する団体が増え、子どもの居場所を立ち上げようとする機運も高まった。福祉健康まつりは規模を縮小しながらも盛況に開催された。また、夏季に発生した県内他市町の大規模災害について、市町社協支援として職員派遣を行い、災害への備えに関する意識の向上につながった。

【課題】新たに事業(子どもの居場所等)を立ち上げる団体に対する継続した支援、アフターコロナを見据えた取り組み(未再開事業による要支援者へのフォロー等)が必要であり、改めて地域福祉を推進していく為の協議・検討をしていくことが求められる。

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1「ひとりひとり〈福祉の心を育てる〉」

(1)－1 地域共生の意識を深める取り組みの推進

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ地域福祉教育を目指し、福祉教育実践校活動を推進した。



南小 車いす体験



北中 高齢者体験

指定校	主な活動内容	実施回数	社協打合せ	助成額
長泉小学校	・「ふくしの授業」・手話を学ぶ ・障がい者講話、車いす体験 (3年生)	3回	3回	100千円
南小学校	・「ふくしの授業」・手話を学ぶ ・視覚障がい者講話、車いす体験 (3年生)	5回	4回	80千円

	・高齢者福祉講話、実践者講話 (6年生)			
北小学校	・手話を学ぶ・「ふくしの授業」 (3年生)	2回	2回	100千円
長泉中学校	・福祉講座「ボッチャ体験」 「盲導犬講座」	2回	1回	100千円
北中学校	・視覚障害者講話と車いす、 高齢者体験 ・盲導犬講話(富士ハーネス) (1年生)	2回	2回	97,800円
知徳高等学校	施設実習、校内実習、福祉科2年 校外学習、国際福祉機器展見学、 福祉科1年施設見学、・日本盲導 犬総合センター研修 など	随時	1回	100千円

社協の関わり：活動の相談、支援

各校がそれぞれ抱える福祉教育における課題について、計画の段階から相談に応じ、事業の実施まできめ細かに支援を行うことで、各校の課題に合わせた福祉教育事業を展開した。

② 夏休み中学生体験学習事業

新型コロナウイルス感染症対策のため、受入施設が対応できないことから中止

③ 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と施設の紹介を行い、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図るため10月16日(日)に福祉健康まつりを開催した。



福祉健康まつり セレモニー



会場のようす

- ・開催日 10月16日(日) 8:30(販売開始)～12:00(閉会)
- ・会場 福祉会館及び周辺駐車場
- ・内容 福祉功労者表彰、福祉関係団体による模擬店、作品展示、大抽選会、ステージ出演のほか、福祉会館浴室・大広間の無料開放、おまつり臨時バスの運行
- ・参加団体数 35団体

・来場者数 約2,000名 他スタッフ約400名

※今回のまつりは、規模縮小、時間短縮しての開催であったが、3年ぶりの開催を待ち望んだ来場者も多く、まつりの目的も果たせたと考えられ、今後のウィズコロナ社会における新しい運営方法検討にあたり、大変参考となる結果となった。

(1)ー2 福祉を担う人材の発掘・育成

① ボランティア養成講座の開催

新たにボランティア活動に取り組むきっかけづくりとして、生活支援体制整備事業と連携し、ボランティア担い手養成講座を開催した。



1回目(9/28)



2回目(1/13)

内容	主な感想	参加者数
ボランティア・市民活動 担い手養成講座 全2回(4日間) (9/28, 10/31, 1/13, 17)	・ボランティア経験者からいろいろな話を聞いた ・他の参加者と話せて楽しかった ・サポーターを増やす講座をたくさんつくってほしい	延べ43人

② 傾聴講座

地域福祉活動に役立てるため、傾聴のスキルを学ぶ講座を開催した。



傾聴ボランティアスキルアップ講座



初心者向け傾聴講座

内容	主な感想	参加者数
傾聴ボランティア スキルアップ講座（7/22）	わかりやすかった（5）、まあまあ 理解できた（6）、難しかった（1）	12人
初心者向け傾聴講座（3/18）	・傾聴の本質的な部分がわかった ・傾聴の難しさを痛感し、違った アプローチの仕方がわかった	23人

③ 外出支援サポーター養成講座

移動に支障がある方を支援するためのスキルを学ぶ講座を開催した。



内容	主な感想	参加者数
車椅子の基本操作を学ぶ （3/22）	・実技で車椅子を押す、車いすに乗 るの両方を経験できた。 ・実践の経験を持ちたい	15人

④ 社会福祉法人との連携

法人間連携の枠組みとなる町内8法人によるプラットフォームを設置し、清水町と合同で地域における公益的な取組について研修会を開催した。

また、蒼樹会の協力を得てさつき園駐車場内にながいずみーる防災倉庫を設置した。

開催日：3月9日（木）13：30～16：00

会 場：ファルマバレーセンター交流ホール 参加者数 27名



(1)－3 福祉に関する情報提供の充実

① 福祉情報発信力の強化

読者が読みやすく、告知効果の高い広報誌（社協だより）づくりに努め、情報発信力の強化を図った。

また、社協マスコットキャラクターの愛称を募集し、名称を「いずみん」と決定した。

社協広報誌『社協だより』 発行部数 17,650 部

5 月 1 日号（No.274）、7 月 1 日号（No.275）

10 月 1 日号（No.276）、1 月 1 日号（No.277）、3 月 1 日号（No.278）



いずみん

② ホームページ等運営事業

社会福祉法人として公表対象となる書類をホームページ上で公開するほか、各養成講座の開催や町内の福祉活動情報を発信し、福祉活動への理解と積極的な参加を促進した。また、SNS（Facebook、Instagram、LINE）を 11 月に開設し、直近の福祉情報など発信している。



③ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うためボランティアの協力を得て声の広報発行事業などによる情報提供事業を実施した。

i 声の広報発行事業

音声訳ボランティアによる「声の広報」情報提供事業

- ・『広報ながいずみ』 21 回発行
- ・『議会だより』 4 回発行
- ・『社協だより』 5 回発行

(2) 施策の方向 2 「地域 〈ともに支え合う地域づくり〉」

(2)－1 となり近所で支え合う体制づくりの推進

① 小地域福祉活動推進事業

地域住民が地域の福祉課題の発見や解決を主体的に行うことを目標に、区単位の地域支援を行った。

ア 活動区 17区

イ 活動費の助成

・年額 50,000 円/区を上限に必要額

② 研修会 (3/9)

感染予防の視点からのコロナ禍で地域活動をしていくための勉強会を行い、小地域福祉活動実践者や生活支援体制整備事業関係者など30人が参加した。



3/9「地域で福祉的な活動を行うための研修会」

③ サロン活動の支援

ア 用具の貸出

区公民館等で介護予防、認知症予防、閉じこもり解消、交流等の活動（レクリエーションや簡単な体操等）に用具の貸出しを実施

イ 講師派遣

サロン活動のレクリエーション等の講師にシニアクラブ長泉活動推進相談員の協力を得て実施

(2)－2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化

① ボランティア団体の支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸出しを行うとともにボランティア団体の連絡調整を行った。

※長泉町ボランティア連絡会加入団体（5月18日現在）

・団体数 27団体（前年度比1団体減）

・会員数 653名（前年度比75名減）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行った。

ア 『社協だより』…ボランティア情報

イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）

ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

全社協のボランティア保険へ加入事務手続きを行った。

・加入件数：個人5件、団体12件

・加入者数：215人

その他、全社協の「福祉サービス総合補償」3件「ボランティア行事用保険」6件の加入事務手続きを行った。

イ 福祉会館会議室等の利用料減免

登録ボランティア団体に対し、会議室等の利用料減免を行った。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等12件の相談及び需要調整を行った。

今年度は傾聴ボランティアに関する相談が5件あり、うち3件は、傾聴ボランティア「ふらっと」代表等とともに面談して活動説明や助言等を行った。

・1件は傾聴ボランティア「ふらっと」に加入した。

・1件は福祉分野の職員として働き始めた。

・1件はカウンセリング勉強会の情報提供、3月の傾聴講座を案内した。講座を受講しその後、町内の住民支え合い活動に参加し始めたことを確認した。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長泉町ボランティア連絡会事務局

・事業等の運営に対する支援（正副会長会議、理事会の開催等）

・事業運営費の補助は今年度申請無し

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、傾聴ボランティア等の受入休止が続いている。

ウ 静岡県ボランティア研究集会への協力

令和4年度静岡県ボランティア研究集会が2月19日に裾野市で開催されたため、協力要請に応じ、長泉町ボランティア連絡会会長と社協職員が実行委員として分科会を担当し、運営を支えた。

・実行委員会7回出席

・前日準備および当日の運営

・ふりかえりの会（3/10）出席

(2)ー3 住民同士の連携による地域福祉の推進

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、民生委員・児童委員との情報共有、連携を図るとともに活動費の支援を行った。

- ・役員会 月 1 回 ・定例会 月 1 回
- ・地域ブロック長会議 計 2 回参加
- ・町社協事業協力費補助金 450,000 円

② メッセージの配布活動

ひとり暮らし高齢者の孤立や不安を緩和するため、令和 2 年度に開始したメッセージを届ける活動を民生委員・児童委員協議会と協働し継続した。町内小中学校にもメッセージの活動について説明し、メッセージが寄せられた。

③ 福祉団体への支援

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、研修などの支援を行った。

※事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉の活動を支援した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため会議の一部、行事全般を縮小、延期したなか広報活動等を中心に支援した。

i 会務運営支援

- ・総会
- ・三役会、理事会、友愛部会、健康部会、プラスワン委員会
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第 54 回グラウンドゴルフ大会（5/12、5/19 予選会、5/26 決勝大会）
- ・ながいずみクリーンアップ作戦（9 月 15 日～21 日）
- ・健康ウォーキング事業（各クラブで実施）
- ・第 48 回スポーツ大会（新型コロナウイルスワクチン接種会場で中止）
- ・第 30 回輪投げ大会（10/31 開催）
- ・第 55 回グラウンドゴルフ大会（11/10、11/17 予選、11/24 決勝大会）
- ・第 2 回フライングディスク大会（12/21）
- ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、フラダンス、健康美体操、いきいき気功、学び直し教室、健康ボウリング）※健康マージャン（中止）
- ・健康ストレッチ教室（前期 4 月～9 月、後期 10 月～3 月）

iii 友愛活動その他活動支援

- ・友愛交流会（中止）、交流研修会（中止）
- ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（9 月号、2 月号）

役員向け広報「シニアクラブ長泉だより」の発行（毎月）

・シニアクラブ長泉ホームページの運用

イ 長泉町遺族会

会務運営にかかる各種連絡等の補助

ウ 長泉町手をつなぐ育成会

・会務運営にかかる各種連絡等の補助

・団体活動及び行事補助

エ 長泉町ボランティア連絡会（⇒参照(2)－2）

④ 運営費助成団体一覧

（単位：円）

No.	団体名	助成額	備 考
1	シニアクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	300,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町民生委員・児童委員協議会	450,000	
5	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
6	長泉町母子寡婦福祉会	100,000	R4 申請減額
7	長泉町ボランティア連絡会	0	※R4 申請なし
8	精神保健福祉長泉きせがわ会	0	※R4 解散
9	長泉町保護司会	50,000	
10	沼津地区更生保護女性会長泉支部	50,000	
11	ながいずみ断酒会	20,000	
合 計		2,670,000	

(2)－4 地域における交流・居場所づくりの推進

① ひとり親家庭親子交流事業

ひとり親家庭を支援するため、防災お菓子リュック作り講座を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止とした。

② 小地域福祉活動事業（再掲）

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」

(3)-1 多様化する生活状況に対する支援の充実

① 子どもの居場所づくり講座【重点取組事業】

支援を必要とする子どもなどが利用できる「子どもの居場所」づくりを進めるため、担い手育成のための講座や見学会などを開催した。また、講座を通し、住民同士による支え合い活動の活性化を図った。



第1回



第2回



子ども食堂見学会（御殿場）



子ども食堂見学会（沼津）

	内容	主な感想	参加者数
第1回 (10/29)	子どもの居場所を始めるために知っておきたいこと	・現在やっている活動について、具体的に知ることができた ・共通の思いを持った人たちが前向きな話ができる	36名
第2回 (12/17)	実践者が話す実際のところ～活動事例紹介～	・子ども食堂の今求められているものを知れた ・何から始めればいいのかわからない。	25名
第3回 (2/11)	運営するために必要なプロセス・エッセンスを学ぶ	・話し合いができて色々な方々と知り合えてよかった ・事業継続について、もう少し	19名

		具体的に伺いたい	
居場所見学	真楽寺かわうそ堂（沼津） （2回）（2/20, 2/25）	・見学ができて（やってみよう と思う）大きな後押しとなっ た。	2名 3名
	はらぺこ食堂 （御殿場）（2/26）	—	3名

② 「てとて食堂」支援

困りごとがある家庭へ食品配布を行うフードバンク「てとて」が、子どもと親との繋がりを深める場として試行的に行った地域食堂に対し、運営の助言や会場提供、物品貸与等の支援を行った。



てとて食堂（2/3）

③ 子どもの季節行事支援事業（ひなまつり）

家庭の事情から季節行事を体験したことがない世帯の子どもに対し、各団体の行事に合わせて、「子どもの健やかな成長を祝う行事」として、ほほえみ&みのり工房に発注し、メッセージカードとひなまつのプレゼントを行った。

- ・ 3月3日てとて食堂 11個
- ・ 3月5日長泉町母子寡婦福祉会 21個
- ・ 3月7日学習支援事業にじっこひなまつり 20個



(3)ー4 より良質な福祉サービス提供の推進

① 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話の設置支援、利用料の助成を行い、緊急時の通報体制の確立を図った。

また、消防本部と連携し、緊急連絡先の再確認、共有を図った。

助成件数	助成額
165 (前期 86 後期 79)	319,770 円 (前期 167,970 円 後期 151,800 円)

② 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸出した。

また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合や、7月10日に執行された参議院議員通常選挙時に各投票所で使用するため長泉町選挙管理委員会に対し無料で車椅子を貸出した。

なお、今年度から年間5台の車椅子クリーニングを業者に依頼し、快適に使用できるよう努めている。

- ・貸出期間、自己負担 1ヶ月 480 円（3ヶ月を限度とする）
- ・有料貸出件数 47 件
- ・教材用貸出件数（無料）19 件

(4) 施策の方向 4 「環境〈安心・安全な環境整備〉」

(4)ー2 防災・減災、感染症対策の推進

① 災害ボランティアセンター運営研修

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び、運営に必要な人材・機関との連携を図ることを目的に、基礎的な内容の研修を実施した。



第 1 回講義「これまでの災害発生状況と災害支援」



第 2 回講義「被災者支援する多様な団体・組織の取組」

	内容	主な感想	参加者数
1 回 目 (8/21)	被害想定等から考える災害ボランティアセンター	・改めて備えてしっかりする事、その時に動けるような準備をしなければと考えさせられた	22名
2 回目 (10/1)	長泉町災害ボランティアセンター運営研修(団体・組織編)	・平时に考え、準備しておくべき事項をし認識できた ・時間が足りなかった。講師の話を十分に聞けるよう工夫が必要	36名
3 回目 (12/11)	長泉町災害ボランティアセンター運営研修(災害 VC 編)	・直近の災害 V の状況の話が聞けてよかった ・実際に活動しないといけないときに、イメージしづらい部分がある	9名

② 災害ボランティアセンター立上げ訓練

近年、災害ボランティアセンターに求められる役割や機能が多様化していることから、訓練を有効的に実施するための「今後の災害ボランティアセンター立上げ訓練を考える研修会」を開催し、32 名の方が参加した。



③ 災害ボランティアセンターパンフレット作成検討会

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び、円滑なニーズ把握等を行えるよう、災害支援の経験が豊富な有識者による作成検討会（全4回）を設置し、災害ボランティアセンターのパンフレット等を作成した。



④ 災害ボランティアネットワーク長泉との連携

災害ボランティア支援本部を立ち上げる際に連携できるよう、研修計画や調整などを相談しながら行った。

⑤ 個別避難計画作成モデル事業への協力

災害時に支援が必要となる方の避難支援を迅速かつ的確に行うため、地域住民や福祉専門職等が共に作成する「個別避難計画」のモデルとなる計画作成に向け協力をした。

⑤ 県内災害ボランティアセンター運営への支援

ア 松崎町及び静岡市清水区の災害ボランティアセンターへ県社協の要請を受け、職員を派遣した。

派遣先	期間	派遣人数（延べ）	主な支援内容
松崎町災害ボランティアセンター	8/26～8/28	1名	ボランティア調整
清水区災害ボランティアセンター	9/30～11/26	6名（延べ7名）	災ボラ全体の業務
災害支援資機材の貸出	～12/16	－	被災地ボラセンへの資機材貸出、引き取り

※派遣終了後、災害ボランティアセンター事務局職員会議を開催し、災害ボランティアセンター派遣の報告会及び振返りを実施した。



ボランティア受付の様子



ボラ活動状況

イ 甚大な被害が出た静岡市清水区に町内からボランティアを募り、社協のマイクロバスにより、被災地支援を行った。（４名参加）

(4)－３ 防犯対策の充実

① 新入学児童祝品贈呈事業

小学校新入学児童へ黄色い帽子の贈呈を行い、児童への交通安全を祈念するとともに、交通事故被害を未然に防ぐため、地域での見守り支援の促進を図った。

1－3 福祉総合相談事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
 基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ① 開設時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時
- ② 開設場所 福祉会館 3 階相談室
- ③ 相談件数 21 件
- ④ 相談人数 13 人（男性 5 人、女性 8 人）
- ⑤ 相談方法 21 件（来所 7 件、電話 14 件、訪問 0 件）

相 談 内 容 ・ 処 理 状 況					
区 分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生 計	1	2	2	1	6
人 権 ・ 法 律	6	4		1	11
そ の 他	1	1		2	4
合 計	8	7	2	4	21

(2) 生活困窮者の社会参加支援

ボランティア団体の活動や社協の利用者支援（利用者宅の片付け等）へのボランティア活動について、相談者からの希望により活動に繋ぐ支援を実施した。社協職員だけでなく他の支援者等と繋がることにより、自身の存在価値の確認や生活意欲の向上につながるきっかけとなった。

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成 24 年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

- (1) 職員配置：専門員 3 人（兼務）、生活支援員 4 人※令和 5 年 3 月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和 4 年度			
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他
継 続	2	2	2	3
新 規	1	1	0	2
解 約	0	0	2	0
小 計	3	3	0	5
令和 5 年 3 月末利用者数	11 人（うち生活保護受給者：4 人）			
増減内訳	新規契約 4 解約 2			

※解約理由 成年後見制度移行：2 件

(3) 相談援助件数

(単位：件)

内 容	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	2	2	0	2	0	6
初回相談件数	2	2	0	2		6
相談援助件数	132	90	187	443		852
合 計	136	94	187	447	0	864

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

① 相談件数 504 件

② 相談実人数 100 人（新規相談者：65 人、継続相談者：35 人）

うち、本人未特定 0 人

③ プラン策定前支援終了件数 37 件

④ プラン確認実人数（再プランを含む件数） 33 件

プラン評価し支援終了者 33 人

⑤ 住居確保給付金申請実人数 7 人

⑥ 支援調整会議：毎月開催

ただし、8 月度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

(2) 家計改善支援事業

令和4年度から本会にて実施することになり支援を実施している。

① 支援実績 今年度新規受付7件、昨年度からの継続件数4件

(3) 一時生活支援事業

生活困窮者のうち住居に不安を抱えている層に対し、一定期間、衣食住の提供を行う。令和元年度から静岡県の委託を受けており支援を実施した。

① 支援実績 1件 15泊利用

(4) 住居確保給付金

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し、生活に困窮する方で住居を失うおそれがある方を対象とした制度利用の支援を実施した。

① 支援実績 7件

	相談件数	面談件数	申請数	貸付との併用	相談者平均年齢
R4年度計	7	7	7	7	32.5

(5) 生活困窮者自立支援金（給付事業）実績3件

緊急小口資金等の特例貸付を終了した世帯や、再貸付について不承認とされた世帯等に対して支援金を支給する制度である。対象者に対し求職活動等、受給要件を満たし制度利用ができるよう支援を実施した。

(6) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学習支援の場所が確保出来なかったため福祉会館での実施となった。副次的効果として関係者等と顔の見える関係を築くことができた。また利用世帯には食糧支援を行った。

(7) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

- ・夏季フードドライブ（8月1日～8月31日）寄贈食品重量：47キロ
- ・冬季フードドライブ（1月4日～1月31日）寄贈食品重量：46キロ

② フードバンク活用実績 7件

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

令和4年9月までは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことによる収入減少、失業者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）の貸付の相談がほとんどを占めた。その後は、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後も生活状況が改善せず、経済的に困窮している方々の相談が多く寄せられた。

(1) 貸付実績

生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付相談実績：19件

	相談 件数	面談 件数	申請数	貸付申 請総額 (万円)	内 訳 (件数)		相談者 平均 年齢
					10万	20万	
R4年度計	19	19	19	360	2	17	42.1

総合支援資金特例貸付相談実績：14件

	相談 件数	面談 件数	申請数	貸付申 請総額 (万円)	特例貸 付との 併用	相談者 平均 年齢
R4年度計	14	12	14	597	10	35.5

特例貸付以外の貸付相談実績：7件

貸付資金種類	申請件数	貸付金額（円）
緊急小口資金	3	300,000
福祉資金	4	1,254,206

【事業の成果と課題】

1 総合的な相談対応

今年度も初回相談時から生活福祉資金の貸付や生活困窮者自立支援事業に類する相談が多く、総合相談としての対応件数は減少している。

しかしながら、成年後見制度利用に関する相談が増加しており、申立支援に繋がったケースもあった。

2 日常生活自立支援事業

今年度は、生活保護受給で適切な家計管理が難しい利用者が、制度を利用することにより生活意欲の喚起につながったケースがあった。

制度利用の相談が入った際には所内で適した制度について協議し、成年後見制度に移行する案件については関係機関と調整を重ね、適切な制度利用に繋がるよう支援を実施している。

3 生活困窮者自立支援事業

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の相談が継続して寄せられている。また、多重債務に陥った世帯の相談も複数寄せられた。家計改善支援相談に繋ぎ、困窮状態に陥った要因を可視化することで収支バランスの改善を図る等、世帯更生のきっかけづくりに努めている。

4 生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の収入減少等、生活困窮者を対象とした特例貸付2種（緊急小口資金、総合支援資金）の申請期間の延長が9月末まで行われ対応した。

その後も困窮状態から抜け出せない世帯の貸付相談も寄せられ、本則に則った貸付申請の支援を行ったが、所得要件等で不承認となるケースもあった。所得要件の確認基準が、前年度所得で算定するなど貸付が必要な状態となった時の状態と合致せず、現在の生活課題にそぐわないため申請できない案件が見受けられ、課題となっている。

5 その他

長泉町が進めている重層的相談体制整備準備事業の取組みとして、本会としても各種会議や研修に参加し、制度理解や準備事業の推進に努めた。事例検討に関する研修会では、本会が関わっているケースを提出し関係機関と協議を進めるなかで、新たな支援チームが構築され、少しずつではあるが支援が進み始めたことに大きな成果を感じるきっかけとなった。

1－4 共同募金助成金事業

施策の方向２ 地域くともに支え合う地域づくり＞
基本施策３ 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 一般募金助成金事業

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに、多様なニーズに即した助成を行う。

昨年度寄せられた共同募金及び歳末たすけあい募金の助成金により、下表の活動項目の事業を実施した。

項 目		期 日	科 目	助成額
1 福祉育成援助活動費				4,010,812 円
1	福祉教育実践校事業	通年事業	助成金	527,800 円
2	小地域福祉活動推進事業	通年事業	助成金	497,000 円
3	視覚障害者情報提供事業	通年事業	事業費	19,580 円
4	災害ボランティア啓発事業 (パンフレット制作・運営研修会)	通年事業	事業費	543,965 円
5	車椅子貸出事業	通年事業	事業費	30,330 円
6	募金啓発 POP 制作	9 月	事業費	3,204 円
7	福祉健康まつり開催事業	10 月	事業費	1,393,155 円
8	生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	70,330 円
9	子どもの居場所づくり事業	通年事業	事業費	74,505 円
10	子どもの季節行事支援事業 (ひなまつり)	3 月	事業費	52,330 円
11	新入学児童見守り支援事業 (黄色帽子贈呈)	3 月	事業費	297,990 円
12	生活困窮世帯入学祝い金贈呈 事業	3 月	事業費	218,298 円
13	広報発行事業 (共同募金あり がとう特集号)	3 月	事業費	281,160 円
14	災害ボランティア活動者支援事業	3 月	事業費	1,165 円
2 老人福祉活動費				760,000 円
1	地域メッセージ事業 (一人暮らし高齢者等)	通年事業	事業費	10,401 円
2	緊急通報システム「福祉電話」設 置者助成事業	通年事業	助成金	321,420 円
3	シニアクラブフライングディスク大会	12 月	事業費	150,000 円
4	小地域福祉活動推進事業	通年事業	助成金	98,179 円
5	生活支援体制整備事業	通年事業	事業費	180,000 円

(2) 費用按分事業内訳

(単位：円)

項 目		サービス区分 1 (共募助成金)	サービス区分 2 (地域福祉活動)	総事業費 (1 + 2)
1	福祉教育実践校事業	527,800	50,000	577,800
2	小地域福祉活動推進事業	595,179	250,000	845,179
3	災害ボランティア啓発事業 (パンフレット制作・運営研修会)	543,965	146,640	690,605
4	福祉健康まつり開催事業	1,393,155	974,692	2,367,847
5	子どもの居場所づくり事業	74,505	20,166	94,671
6	広報発行事業(共同募金あり がとう特集号)	281,160	76,032	357,192
7	地域メッセージ事業 (一人暮らし高齢者等)	10,401	8,220	18,621

2 歳末たすけあい見舞金事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに民生委員の協力を得て見舞金を贈呈し、助成金を支給した。

対 象	・ 令和 4 年 9 月 1 日に長泉町に住民票を有する世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯、児童扶養手当受給世帯 ・ 地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるように、町内で身近な福祉課題に取り組んでいる団体に対し、必要な事業経費の一部を助成した。
-----	---

【対象者分類別一覧】

(単位：円)

対象者	助成金支出	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	310,000	0	310,000
障害児・者	206,000	0	206,000
児童・青少年	1,097,000	0	1,097,000
課題を抱える人	163,000	68,319	231,319
合計	1,776,000	68,319	1,844,319

【対象者件数別一覧】

(単位：件)

対象者	在宅	施設	団体	合計
高齢者	35	0	1	36
障害児・者	22	0	1	23
児童・青少年	62	0	0	62
課題を抱える人	9	0	0	9
合計	128	0	2	130

【事業の成果と課題】

令和３年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、ひとり親家庭親子交流事業は昨年度同様中止し、代替事業として、学習支援事業、長泉町母子寡婦福祉会との連携等から、家庭において季節行事を体験したことがないひとり親世帯の子どもの存在を把握することができたため、子どもの季節行事支援事業（ひなまつり）を行った。事業内容は地域福祉活動事業報告(3)―1③に記載している。

歳末たすけあい募金助成事業について、申請要件や周知方法の見舞金の贈呈額についてコロナ禍における見直しを図った。また、贈呈世帯の要件確認については行政協力をいただき、必要な方に必要な支援が届くように努めた。

また、歳末に地域福祉活動を行う団体に対する活動費助成を社協だよりにて周知したところ申請が２件あり活動費用を助成している。

1-5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」 (3)-4 より良質な福祉サービス提供の推進

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者、並びに聴覚障がい者等と意思の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 4名（町3名、広域登録1名）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数								
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣時間 手話登録者 合計									
		昼	夜	町内	町外	町内	町外		生命健康	官公署	職業	教育	教養自己	住居	地域生活	団体活動	その他
		件数	件数	人数	人数	件数	件数		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	23	20	3	11	22	12	11	56:55	8	0	3	3	2	0	1	6	0
5月	12	11	1	10	8	4	8	38:55	5	0	2	0	0	1	0	4	0
6月	13	12	1	10	7	7	6	32:20	5	0	0	1	0	0	0	7	0
7月	17	16	1	6	17	8	9	59:15	9	0	2	0	1	0	0	5	0
8月	16	13	3	9	16	8	8	44:40	6	0	3	0	0	1	1	2	3
9月	10	10	0	4	12	5	5	32:15	4	0	1	0	0	0	0	4	1
10月	12	11	1	8	9	7	5	30:40	3	0	1	0	0	0	0	7	1
11月	18	18	0	8	15	9	9	41:45	10	0	0	2	0	0	0	4	2
12月	16	16	0	2	18	5	11	37:45	12	1	0	0	1	0	0	2	0
1月	9	8	1	3	9	2	7	24:25	2	0	0	0	1	0	0	3	3
2月	17	14	3	10	11	5	12	36:30	8	0	0	0	0	0	0	8	1
3月	15	15	0	8	10	2	13	40:20	7	0	0	0	1	0	0	7	0
R4 合計	178	164	14	89	154	74	104	475:55	79	1	12	6	6	2	2	59	11
R3 合計	195	186	9	98	145	102	93	435:32	109	0	0	5	0	1	3	47	30

(3) 手話奉仕員養成講座「基礎編」

聴覚障がい者の生活及び関連する福祉制度について理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話技術や手話表現技術の習得を図った。

i 日 程 5月11日～12月14日 毎週水曜 19時～21時

全22講座・3講義

ii 会 場 長泉町福祉会館

iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方

iv 修了者 6名（出席率80%以上で修了証交付）

※手話通訳者になるためには、奉仕員養成講座「入門編」「基礎編」、通訳者養成講座3年を修了後、試験を受け、最低でも4年が必要となる。



手話奉仕員養成講座

(4) 子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に、低学年クラスと高学年クラスに分かれ2日間開催した。

開催日 12月17日（土）～12月18日（日）2日間

参加者 17名（子ども11名、大人6名）

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、手話サークル
ふくろうの会



こども手話教室

(5) 手話体験教室（一般向け）【新規】

手話の普及のために、一般向けに手話を体験するための教室を新たに開催した。

開催日 2月1日（水）19時～21時

参加者 29名

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、手話サークル
ふくろうの会



一般向け手話教室

【事業の成果と課題】

町内の聴覚障がい者の生活を支える手話通訳者が少ないため、手話通訳者育成のための各種事業を展開した。

手話奉仕員養成講座は令和3年度の入門編に引き続き、6名が継続して受講した。長期講座であったが、6名全員が修了できた。一人でも多くの方に手話通訳者を目指してもらうため、県の手話通訳者養成講座受講への参加の促進と共に、町内の手話サークルへ繋げるための周知を図っていく。

コロナ禍で中止していた子ども手話教室を再開し、一般向け手話体験教室を新たに開催するなど、手話の理解のすそ野を広げる取り組みを実施し、多くの参加者があった。

今後も引き続き手話通訳者育成のための事業を展開していく必要がある。

1-6 小口資金貸付事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
 基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活支援及び小口資金の貸付けを行う。

2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金 額 (%)
13 件	183,000 円	13 件	183,000 円	100	100

3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金 額①	件数	金 額②	件数	金 額③	金 額
当年度分	13 件	183,000 円	8 件	74,000 円	0 件	0 円	109,000 円
過年度分残高	4 件	100,500 円	2 件	40,000 円	0 件	0 円	60,500 円
合計	17 件	283,500 円	10 件	114,000 円	0 件	0 円	169,500 円

・ 償還終了件数：9 件

・ 償 還 残 件 数：8 件（当年度貸付分：5 件 過年度貸付分：3 件）

【事業の成果と課題】

生活保護費支給までのつなぎや、急な出費による一時的な家計の圧迫などによる困窮状態により食料の確保が難しくなった世帯に対し、フードバンク利用のための送料の貸付を 3 件行っている。

今後も、貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業と連携し無理なく生活の立直しにつながるよう対応していく。

過年度貸付世帯の 3 件については償還が計画通りにできていないため、行政や民生委員・児童委員と連携して負担のない償還を促すことに努める。

1－7 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

施策の方向 2 地域〈ともに支え合う地域づくり〉

基本施策 3 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、長泉町からの受託事業として第1層生活支援コーディネーターを配置し、支援ニーズの抽出や担い手の養成、サービスの開発を行う。

2 事業内容

(1) 第1層(町内全体)を対象とした活動

① 協議体会議開催(年4回)

内容：第2層協議体進捗状況共有、社会資源ガイドブック改訂に対する意見出し、生活支援サービス事業への助言等

② 協議体勉強会開催(9/1-2 Zoom 5名)

内容：いきがい・助け合いサミット in 東京への参加

③ 事業周知のための講演(フォーラム)会開催(12/11 参加者:89名)

内容：住民主体による助け合い活動 他



勉強会(Zoom参加)の様子



フォーラムの様子

(2) 第2層(小学校区)を対象とした活動

① 協議体会議への参加

ア 長泉小学校校区(7回 福祉会館等)

内容：生活支援サービス事業の検討、介護保険勉強会等

イ 南小学校校区(3回 さつき園)

内容：構成員間の情報共有等

ウ 北小学校校区(9回 モクオハナ)

内容：移動支援についての協議

② 協議体勉強会（年 3 回）

ア 基礎編(11/16, 30 参加者:延べ 30 名)

内容：地域福祉活動の理解、生活支援体制整備事業の理解

イ 応用編(2/17 参加者：21 名)

内容：後方、啓発に方法について

ウ 北小校区対象(7/17 参加者：6 名)

内容：小地域福祉活動のすすめ方

③ 交流会の開催

ア サービス提供者間の情報交換(9/9, 20)

内容：各校区ごとの事業進捗状況、情報交換

イ 富士市の協議体との情報交換(2/3)

内容：取組内容の共有や意見交換の実施

ウ 袋井市の協議体との情報交換(2/27)

内容：取組内容の共有や意見交換の実施

④ 後方支援及び情報提供

ア 北小校区(1 回 移動支援視察)

イ 長小校区(7 回 役員会や定例会への出席 他)

ウ 南小校区(4 回 サロンやラジオ体操への参加 他)



協議体会議の様子



勉強会の様子



他市との交流会の様子



移動支援視察の様子

(3) サービス担い手を対象とした活動

① サービスの担い手養成講座

ア 第1回目(9/28, 10/31 参加者:延べ 39 名)

内容: ボランティア・市民活動、生活支援体制整備事業概要 他

イ 第2回目(1/13, 17 参加者:延べ 4 名)

内容: ボランティア・市民活動、生活支援体制整備事業概要 他

② サービスの担い手フォローアップ研修の開催

ア ボランティア活動者編(7/14 参加者:18 名)

内容: コミュニケーションのコツ 他

イ コーディネーター編(11/22 参加者:14 名)

内容: 言動の中から相手を知る 他



担い手養成講座の様子



フォローアップ講座の様子

(4) 情報発信

各協議体、SC などの間の情報共有、活動の見える化を行うことで共通認識を図ることを目的に、発行(6月、10月、2月)。

【成果】

本年度は、第1層生活支援コーディネーターが交代したため、まずは、関係者との信頼関係を構築していくことを中心に行っていった。

各第2層協議体(または生活支援サービス提供団体)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の停滞が心配されたが、確実に実績を積み重ねることができた。(長小校区(チームつながり):利用者 16 名(支援回数 478 回)、南小校区(生活サポートあゆむ):利用者 4 名(支援回数 326 回)、北小学校区(やまびこ):令和5年5月スタート予定)

【課題】

第2層協議体が精力的に各自で活動されているため、第1層協議体が主体となってサービス開発や生活課題に対する協議、また第2層協議体との連携が充分に行えていないため、役割や機能を見直していく必要がある。

第2層協議体においても、生活支援サービス提供者としての協議は毎月行われているが、その他のテーマに関する協議については、行われる機会が少ない状況である。

1－8 権利擁護推進事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策 5 権利擁護の推進

1 事業目的

この事業は、今後需要の増加が見込まれる成年後見制度を安定して利用できるよう、市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

2 事業概要

(1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人名簿登録者に対するフォローアップ講習等を行う。

(2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の審判を得て受任する。

3 事業内容

(1) 市民後見推進事業

① 市民後見人養成研修事前説明会

- ・参加者のべ2名

② 市民後見人養成研修受講申込者1名、決定者1名

③ 市民後見人養成研修 10月7日（金）から2月3日（金）

- ・同行実習、レポート作成含め、合計49時間

④ 市民後見人名簿登録者（4名）を対象に毎月1回連絡会を開催

⑤ フォローアップ研修 3月16日（木）4名参加

今年度、市民後見人名簿登録者1名が町外に転出したが、1名が養成講座を修了し4名で活動している。

(2) 法人後見事業

今年度は6件受任（うち1件は審判確定前に死亡）、現在8件受任している。

【受任件数】

	後見	保佐	補助	合計
R4 年度末	3	3	2	8

【事業の成果と課題】

今年度は市民後見人名簿登録者 1 名が、初めて法人後見との複数選任で保佐人に選任された。権限分掌のない市民後見人との複数選任はあまりケースがなく、申立支援機関、静岡家庭裁判所、本会、市民後見人と協議しながら支援の仕組みを構築し、新たな形で地域でのひとり暮らしを支援することができている。その他の市民後見人候補者も順調に支援の経験を積み重ねている。

日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行ケースも増えてきている。利用者が安心できる支援の継続性を担保するためにも、今後も継続的にフォローアップ研修を行い、市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

2 老人福祉センター

2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

施策の方向3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

2 管理業務の状況

(1) 清掃・環境衛生業務（令和2年度～令和4年度の長期継続契約）

- ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
 - ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
 - ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年4回）
 - ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
 - ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）レジオネラ菌防止対策の高濃度塩素消毒
- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）※夜間営業中（7月～12月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。
- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク貯蔵所漏洩検査（年1回）重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合 計 (1) + (2)	一 日 平均	健 康 相 談
		有料	無 料	小 計 (1)	有 料				無 料			小計(2)			
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他				
4月	27	180	856	1,036	57	543	1,105	29	38	0	1	1,773	2,809	104	290
5月	26	250	963	1,213	59	576	1,156	25	55	0	3	1,874	3,087	119	312
6月	26	210	998	1,208	137	525	908	11	63	0	1	1,645	2,853	110	323
7月	28	399	1,189	1,588	293	591	1,300	34	53	0	0	2,271	3,859	138	257
8月	26	453	690	1,143	74	537	1,370	33	74	0	0	2,088	3,231	124	236
9月	27	231	929	1,160	89	550	1,464	15	60	0	0	2,178	3,338	124	265
10月	25	219	924	1,143	82	509	1,424	45	27	0	0	2,087	3,230	129	264
11月	26	301	1,125	1,426	155	657	1,495	64	61	0	0	2,432	3,858	148	297
12月	23	274	1,032	1,306	77	560	1,632	45	59	0	0	2,373	3,679	160	256
1月	24	267	991	1,258	88	524	1,381	25	51	0	0	2,069	3,327	139	283
2月	24	733	1,356	2,089	87	552	1,370	38	70	0	0	2,117	4,206	175	264
3月	27	511	1,368	1,879	66	674	1,257	75	66	6	0	2,144	4,023	149	299
合計	309	4,028	12,421	16,449	1,264	6,798	15,862	439	677	6	5	25,051	41,500	134	3,346
R3 年度	245	2,488	7,239	9,727	248	4,979	10,951	249	305	0	0	16,732	26,459	108	2,530
増減	64	1,540	5,182	6,722	1,016	1,819	4,911	190	372	6	5	8,319	15,041	26	816

※昨年度は緊急事態宣言による臨時休館があったため全体的に増加している。

R5/3/13 より、マスクの着用に関して、着用は個人の判断に委ねることとなった。

(2) 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	9	6	10	25	36	27	14	77	45	33	24	102
5月	7	13	9	29	30	31	16	77	37	44	25	106
6月	9	10	8	27	29	37	17	83	38	47	25	110
7月	12	13	7	32	37	29	19	85	49	42	26	117
8月	11	13	4	28	17	30	11	58	28	43	15	86
9月	7	13	8	28	30	32	18	80	37	45	26	108
10月	5	12	11	28	29	35	23	87	34	47	34	115
11月	6	13	16	35	33	34	23	90	39	47	39	125
12月	5	11	17	33	33	35	15	83	38	46	32	116
1月	6	13	12	31	23	32	16	71	29	45	28	102
2月	12	22	18	52	29	31	28	88	41	53	46	140
3月	11	16	15	42	40	32	12	84	51	48	27	126
合計	100	155	135	390	366	385	212	963	466	540	347	1,353
R3 年度	74	123	78	275	245	220	175	640	319	343	253	915
増減	26	32	57	115	121	165	37	323	147	197	94	438

(単位:人)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	101	38	41	180	404	249	203	856	505	287	244	1,036
5月	54	152	44	250	391	395	177	963	445	547	221	1,213
6月	109	64	37	210	397	409	192	998	506	473	229	1,208
7月	223	147	29	399	613	358	218	1,189	836	505	247	1,588
8月	306	128	19	453	182	354	154	690	488	482	173	1,143
9月	56	132	43	231	365	362	202	929	421	494	245	1,160
10月	39	125	55	219	365	328	231	924	404	453	286	1,143
11月	53	145	103	301	461	432	232	1,125	514	577	335	1,426
12月	59	117	98	274	420	452	160	1,032	479	569	258	1,306
1月	75	123	69	267	317	433	241	991	392	556	310	1,258
2月	188	396	149	733	362	494	500	1,356	550	890	649	2,089
3月	177	216	118	511	639	464	265	1,368	816	680	383	1,879
合計	1,440	1,783	805	4,028	4,916	4,730	2,775	12,421	6,356	6,513	3,580	16,449
R3 年度	873	1,205	410	2,488	2,990	2,357	1,892	7,239	3,863	3,562	2,302	9,727
増減	567	578	395	1,540	1,926	2,373	883	5,182	2,493	2,951	1,278	6,722

※昨年度は緊急事態宣言による臨時休館があったため一部増加している。

(3) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	会議室 利用料還付	その他 公衆電話他	合 計	R3 年度	増減
4月	357,600	137,000	494,600	49,200	0	290	544,090	519,320	24,770
5月	392,800	159,000	551,800	19,600	0	250	571,650	508,170	63,480
6月	328,000	109,000	437,000	27,700	0	210	464,910	576,190	△111,280
7月	492,500	160,000	652,500	40,500	0	170	693,170	664,220	28,950
8月	473,000	140,000	613,000	18,800	0	180	631,980	291,870	340,110
9月	475,600	139,000	614,600	68,300	0	210	683,110	△14,800	697,910
10月	468,000	137,000	605,000	13,100	0	280	618,380	529,830	88,550
11月	538,100	153,000	691,100	28,300	0	350	719,750	635,890	83,860
12月	528,000	179,000	707,000	31,300	△700	250	737,850	632,180	105,670
1月	456,100	164,000	620,100	47,100	0	210	667,410	414,230	253,180
2月	449,800	148,000	597,800	19,100	0	130	617,030	△3,700	620,730
3月	429,600	148,000	577,600	51,100	0	60	628,760	316,950	311,810
合計	5,389,100	1,773,000	7,162,100	414,100	△700	2,590	7,578,090	5,070,350	2,507,740

(4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セレクトレックス	マッサージ	合計	R3 年度	増減
4月	0	15,900	18,700	34,600	45,300	△10,700
5月	0	16,600	16,900	33,500	41,300	△7,800
6月	14,100	19,100	17,300	50,500	38,300	12,200
7月	22,900	16,000	22,400	61,300	37,900	23,400
8月	27,900	13,900	23,700	65,500	21,800	43,700
9月	38,300	16,600	27,400	82,300	0	82,300
10月	36,800	16,100	21,500	74,400	31,700	42,700
11月	35,900	16,600	21,500	74,000	40,300	33,700
12月	27,800	16,100	18,900	62,800	54,000	8,800
1月	32,600	16,100	15,400	64,100	47,900	16,200
2月	31,200	16,900	17,800	65,900	0	65,900
3月	31,900	18,400	17,900	68,200	25,500	42,700
合計	299,400	198,300	239,400	737,100	384,000	353,100

4 光熱水費使用状況等

(1) 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量
	電気 (単位 : kwh)	上下水道 (単位 : m ³)	A重油 (単位 : L)
4 月	16,308		4,000
5 月	12,682	1,963	6,000
6 月	13,379		4,000
7 月	17,855	1,906	4,000
8 月	21,879		6,000
9 月	21,955	2,325	4,000
10 月	17,218		6,000
11 月	15,000	2,219	6,000
12 月	17,723		6,000
1 月	17,959	1,918	6,000
2 月	20,725		6,000
3 月	15,824	1,838	6,000
合計	208,507	12,169	64,000
R3 合計	173,632	9,280	52,000
増 減	34,875	2,889	12,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位 : 円)

月	水道光熱費						燃料費	合 計	R3 年度	増減
	電 気	LP ガス	炭酸ガス	水 道	山田組電気 水道負担	計	A 重油			
4 月	374,770	8,326	102,060		△13,000	472,156	506,000	978,156	738,716	239,440
5 月	309,189	6,874	72,900	468,650	△12,000	845,613	745,800	1,591,413	1,360,547	230,866
6 月	326,534	7,963	102,060		△12,000	424,557	492,800	917,357	750,176	167,181
7 月	449,897	6,511	116,640	454,990	△16,000	1,012,038	514,800	1,526,838	1,204,070	322,768
8 月	572,934	6,874	131,220			711,028	765,600	1,476,628	923,500	553,128
9 月	604,171	6,511	116,640	554,090		1,281,412	510,400	1,791,812	575,767	1,216,045
10 月	500,873	9,052	145,800			655,725	759,000	1,414,725	985,488	429,237
11 月	457,889	6,511	102,060	528,670		1,095,130	765,600	1,860,730	1,451,589	409,141
12 月	569,581	7,237	116,640			693,458	778,800	1,472,258	1,193,425	278,833
1 月	595,003	8,365	102,060	458,050		1,163,478	778,800	1,942,278	1,640,127	302,151
2 月	601,236	9,454	72,900			683,590	778,800	1,462,390	239,841	1,222,549
3 月	448,729	9,091	102,060	438,280		998,160	778,800	1,776,960	1,296,773	480,187
合計	5,810,806	92,769	1,283,040	2,902,730	△53,000	10,036,345	8,175,200	18,211,545	12,360,019	5,851,526
R3 年度	3,340,456	71,961	874,152	2,221,250	△45,000	6,462,819	5,942,200			
増減	2,470,350	20,808	408,888	681,480	△8,000	3,573,526	2,233,000			

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上）

（単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	大広間前空調機改修工事	272,800	室外機制御装置内基盤不良
2	オイルギアポンプ更新修繕	379,500	ポンプ内老朽劣化のため異音・振動音発生のため
3	炭酸泉用ろ過機ポンプ修繕	115,500	水漏れのため
4	女子浴槽超音波発生機修繕	286,000	バルブ等劣化し水漏れのため

6 安全対策

(1) 福祉会館施設利用者の傷害補償

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6 月 20 日(月)	12 名	水消火器訓練・避難誘導経路確認・119 番通報訓練

(3) 富士山南東消防本部立入検査（地下タンク）

8 月 9 日（火） 改善を要する事項は無し

7 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成 25 年度から実施）

勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

① 実施期間 7 月 1 日（金）から 12 月 27 日（火）まで

6 ヶ月間（月曜日を除く、但し月曜祝日は実施）

② 延長時間 17 時 00 分から 20 時 30 分（3 時間 30 分）

③ 利用結果 （単位：人）

月	営業日	利用者数	1 日 平均利用者	昨年度 1 日平均利用者	増減
7 月	28	758	27	26	1
8 月	26	719	28	26	2
9 月	27	651	24	0	24
10 月	25	591	23	21	2
11 月	26	729	28	26	2
12 月	23	776	33	28	5
合計	155	4,224	27	21	6

(単位：人)

時間帯内訳	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
16:30～17:00	149	144	124	107	117	140	781
17:00～17:30	140	147	120	103	136	137	783
17:30～18:00	129	100	99	93	120	111	652
18:00～18:30	135	126	126	122	130	155	794
18:30～19:00	103	126	109	105	136	118	697
19:00～19:30	102	76	73	61	90	115	517
合 計	758	719	651	591	729	776	4,224

夜間売上内訳	大人券 500 円	高齢者 障害者 300 円	子供 100 円	短時間 300 円	合計
7月利用人数	14	117	25	602	758
7月売上	7,000	35,100	2,500	180,600	225,200
8月利用人数	0	93	22	604	719
8月売上	0	27,900	2,200	181,200	211,300
9月利用人数	0	95	10	546	651
9月売上	0	28,500	1,000	163,800	193,300
10月利用人数	0	88	16	487	591
10月売上	0	26,400	1,600	141,600	169,600
11月利用人数	0	97	27	605	729
11月売上	0	29,100	2,700	181,500	213,300
12月利用人数	0	104	33	639	776
12月売上	0	31,200	3,300	191,700	226,200
7月～12月利用合計	14	594	133	3,483	4,224
売上合計	7,000	178,200	13,300	1,040,400	1,238,900

- (2) 施設の無料開放について
新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。(県民の日、敬老の日)

(3) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

今年度は新型コロナウイルス感染症予防のためカラオケ以外の舞踊、卓球は引き続き中止。

事業内容	内 容
カラオケ・舞踊	中止 (カラオケのみ 6/7 から再開)
卓球	中止
囲碁、将棋、オセロ	用具の貸し出し (随時)

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。（感染症予防のため利用制限有）

サークル名	活 動 日	時間	会 場
ダンスサークル	毎週土曜日	午後	1 階遊戯室
将棋サークル	第 1 ・ 3 火曜日	午後	2 階教養娯楽室 1
囲碁サークル	第 2 ・ 4 火曜日	午後	2 階研修室
表千家茶道サークル	第 1 ・ 3 木曜日	午前	2 階教養娯楽室 2
華道サークル（松風古流）	第 1 ・ 3 水曜日	午前	2 階教養娯楽室 2

※3/1 日をもって、華道サークル（松風古流）が活動終了となった。

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施

従来、高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福祉会館の利用を促進するため、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行っている。

【事業の成果と課題】

高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。

施設の指定管理者として、地域のシニア世代、その他の関係福祉団体等の意向を踏まえつつ、期待される施設機能を十分に活かした経営の企画立案・調整を図ってきた。

今期においては、不安定な社会情勢の影響により光熱水費をはじめ全般的に物価上昇の煽りを受けたが町行政による光熱水費の補填や施設経費の削減に努めることによって収支の均衡を図ることができた。

今後、新型コロナウイルス感染症対策に対する施設制限等が解除され、会館利用者が従来の実績に回復していくなかにおいても引き続き安心・安全にご利用いただけるよう、行政等と協議しながら施設運営に努め、適切な利用に繋がっていききたい。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、事業対象者と認定された利用者に対し、心身の状況や希望、生活課題を考慮して居宅サービス計画を作成し、本人及び家族の支援を行う。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう医療と連携を図り、居宅サービス事業所等の連絡調整、並びに居宅サービスの給付管理を実施する。

2 事業内容

(1) 各種申請に関すること

① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービスの利用申請 ③ その他、必要な制度利用の申請

(2) ケアプランの作成に関すること

① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握
③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

(3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席
② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

月	居宅介護支援件数						介護予防支援・総合事業件数				月間 合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	25	22	21	8	2	78	7	24	3	34	112
5月	23	23	21	10	3	80	7	24	3	34	114
6月	22	23	21	10	2	78	7	25	2	34	112
7月	25	22	25	8	2	82	9	21	3	33	115
8月	22	21	24	6	3	76	8	20	3	31	107
9月	24	19	24	5	3	75	9	20	2	31	106
10月	24	19	24	6	3	76	7	22	2	31	107
11月	22	16	24	7	4	73	7	22	2	31	104
12月	18	17	21	7	4	67	6	24	2	32	99
1月	18	16	22	7	4	67	6	24	2	32	99
2月	16	15	19	8	3	61	6	24	2	32	93
3月	15	17	20	8	3	63	6	21	2	29	92
R4 合計	254	230	266	90	36	876	85	271	28	384	1,260
R3 合計	384	330	266	76	42	1,098	107	335	55	497	1,595
増減	△130	△100	0	14	△6	△222	△22	△64	△27	△113	△335

(2) 加算・減算の状況

	加 算							減 算	
	初回	退院 退所	入院	通院時 連携加算	ターミナ ルケア	特事 Ⅲ	特事 Ⅱ	運営	集中
4 月	1	1	3	2	0	0	0	0	0
5 月	2	0	0	0	0	0	0	0	0
6 月	1	0	2	1	0	0	0	0	0
7 月	3	1	1	0	0	0	0	0	0
8 月	1	0	1	1	0	0	0	0	0
9 月	0	1	1	0	0	0	0	0	0
10 月	0	1	3	0	0	0	0	0	0
11 月	2	1	1	1	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	1	0	0	0	0	0
1 月	1	1	2	0	0	0	0	0	0
2 月	3	1	0	1	0	0	0	0	0
3 月	2	0	4	0	0	0	0	0	0
R4 合計	16	7	18	7	0	0	0	0	0
R3 合計	30	10	21	31	0	0	0	0	0
増 減	△14	△3	△3	△24	0	0	0	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入れ	終了者
R4 合計	8 7 6	3 8 4	1 6	2 9
R3 合計	1, 0 9 8	4 9 7	3 0	7
増 減	△ 2 2 2	△ 1 1 3	△ 1 4	2 2

5 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (2) わくわくケア～の会：5 回（6/21、8/23、10/18、12/20、2/21）
- (3) 長泉町ケア相談会：2 回（1/19、3/23）
- (4) 長泉町介護支援専門員連絡協議会、長泉町介護支援専門員連絡協議会
役員会、長泉町主任介護支援専門員連絡協議会、長泉町主任介護支援
専門員連絡協議会役員会
- (5) その他、業務遂行に必要な会議、スキルアップ研修
（事例検討会・在宅医療介護連携推進会議等）

【事業の成果と課題】

今年度の途中で専従職員が 3 名から 2 名体制となり、担当件数が上限となったが、ご利用者様にはサービスのご利用に支障のないよう支援が継続できたと思う。ただし、新規の方の受け入れ枠の余裕がない状況が続いてしまった。例年に比べて、入所する方、ご逝去された方が多く、件数減少となったこともあり、今後は

安定した事業を確保するためにも職員のスキルアップ、効率化による業務負担の軽減など事業所で検討していきたい。

満足度アンケートについては、ご利用者・ご家族、関係する事業所に引き続きご協力をいただいた。貴重なお時間でご意見を下さったことに感謝をして業務に活かしていきたい。

つながる関係づくりを進めて、地域に密着する事業所を目指していきたい。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。利用者すべてが町民であり、地域密着型通所介護事業所として地域福祉の充実に取り組んでいる。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～

定員 指定地域密着型通所介護、介護予防通所介護 18人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	0	1	0.8
生活相談員	1	1	1.2
介護職員	1	4	3.5
看護職員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(0)	(3)	(1.2)

3 営業時間

営業日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導 ②日常生活動作訓練 ③介護サービス ④送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥給食サービス ⑦入浴サービス ⑧介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



壁画作成



季節行事

5 監査及び行政機関調査の実施状況

令和5年1月20日(金) 介護保険施設等の運営指導 指導事項なし

6 利用状況

	開所 日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4 月	26	26	2	245	12	
5 月	26	25	2	252	12	
6 月	26	27	3	270	18	
7 月	26	24	3	245	17	納涼祭
8 月	27	26	3	251	17	
9 月	26	26	3	255	22	敬朗会
10 月	26	27	3	254	14	
11 月	26	29	2	276	22	
12 月	23	30	3	244	18	クリスマス会
1 月	24	30	3	235	20	
2 月	24	31	3	252	18	節分
3 月	27	30	2	274	18	ひな祭り
R4 期間 計	307	331	32	3,053	208	
R3 期間 計	302	334	25	3,545	158	
増 減	5	△3	7	△492	50	

7 令和4年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾（新緑、花、海、お月見、七夕、花火）
- (2) 敬朗会（利用者プレゼント作成）
- (3) 干支（小物作成）

8 内部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
12 月 17 日	実践介護技術支援事業講座 「接遇」	13 名
12 月 17 日	介護技術講習会「移乗・歩行」	13 名

外部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
6 月 2 日～ 9 月 7 日	認知症実践者研修	1 名
12 月 1 日	介護保険サービス提供事業者説明会	1 名
3 月 26 日	今後の災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を考える研修会	4 名

9 ボランティアの協力、活動支援ボランティア受入状況

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、各種ボランティアの受け入れを休止している。

10 介護実習の受け入れ状況

コロナウイルスの状況を踏まえ実習を行った。

実習生受け入れ

受入期間	実習団体	実習内容	人 数
4 月 18 日～4 月 28 日	知徳高校 3 年	介護体験実習	3 名
6 月 6 日～6 月 10 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	4 名
6 月 13 日～6 月 17 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	4 名
9 月 5 日～9 月 9 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	4 名
9 月 12 日～9 月 16 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	3 名
10 月 31 日～11 月 11 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	4 名
12 月 23 日～12 月 24 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	6 名
R 4 期間計			28 名

11 防災訓練の実施

(1) 危険物安全週間における訓練

実施日：6 月 6 日（月）～6 月 11 日（土）

参加者：いずみの郷デイサービス全職員

内 容：火元責任者による安全確認。消火設備点検・確認、発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底、危険物の保管確認。

(2) いずみの郷における災害時避難誘導訓練

実施日：11 月 1 日（火）13 時 45 分から 14 時 20 分まで

参加者：職員 16 名、利用者一般型 10 名 認知症対応型 5 名

内 容：火災時における避難経路確認・誘導訓練・通報訓練

(3) 「春の火災予防運動」における職員に対する防火訓練

実施日：3 月 1 日（水）～3 月 7 日（水）

参加者：いずみの郷デイサービス全職員

内 容：消火設備確認。通報の確認、避難の確認及、地震対策についての確認、チェックリスト提出

【事業の進捗状況】

今期の新規の利用者は14名、利用終了者は10名であった。全体での延べ者数は、前年同期比で減少している。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～を合言葉に、地域密着型通所介護事業の利用者へのサービス提供向上とともに、職員一人ひとりがかけがえのない仲間であることを意識して、チームケア向上を図った。

昨年に引き続き飛沫予防のパーテーションの設置、手洗い、手指消毒の徹底などの感染症対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生活リハビリを主とする体操に力を入れた。今後の不活発な生活による日常生活動作の低下を予防し、体操やレクリエーションの充実を図っていく。

経営面の課題としては、延べ利用者数が減少していることから、新規利用者取得に向け努力していく。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスが創設され、現在、いずみの郷認知症対応型通所介護事業所は町内唯一の指定を受けている。その役割使命を認識し、従来より実践されている認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行った。

事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～

定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護 12人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	1	-	0.2
生活相談員	1	1	1.2
介 護 職 員	1	2	2.2
看 護 職 員	0	3	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
営業時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く)

4 事業内容

- ① 生活指導 ② 日常生活動作訓練 ③ 介護サービス ④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥ 給食サービス ⑦ 入浴サービス ⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



レクリエーション



個別活動（書道）

5 監査及び行政機関調査の実施状況

実地指導 なし

6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主 な 行 事 等
4 月	26	9	99	
5 月	26	9	99	
6 月	26	9	102	
7 月	24	9	99	納涼祭
8 月	27	10	104	
9 月	26	10	97	敬朗会
10 月	26	10	107	
11 月	26	10	102	
12 月	24	10	93	クリスマス会
1 月	24	9	88	
2 月	24	10	81	節分
3 月	27	10	92	ひな祭り
R4 期間計	306	115	1,163	
R3 期間計	302	140	1,659	
増減	△4	△25	△496	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

7 令和4年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

8 内部研修状況、ボランティアの協力、福祉教育、介護実習受け入れ状況、防災訓練の実施内容に関しては、指定通所介護事業に記載の通り。

【事業の進捗状況】

今期の新規の利用者4名、利用終了者は3名であった。全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

利用者ひとりひとりの認知症の進行がみられており個別対応が求められる場面が多くみられるようになった。事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～を合言葉に、利用者が自分らしく過ごせる環境づくりを行ない、デイサービスが心地良く、安心できる場所となるよう努めた。認知症の進行により、家族の在宅での介護負担がみられるケースもあり、介護者の支援にも力を入れ取り組んだ。

また、今期は外部研修、認知症実践者研修に職員が参加、伝達研修を行い認知症ケアの質の向上、ケアの見直しを図り、よりよいサービス提供が出来るよう努めている。

今後は新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、地域密着型デイサービスとして、地域ボランティアの受け入れや家族会の開催、地域住民の方への認知症への理解を発信していくことを検討していく。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、要介護者等の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

(2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 混合型（① 身体介護、② 生活援助）

3 監査及び行政機関調査の実施状況

なし

4 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人、時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者数 (人)	派遣時間 (時間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4 月	20	101.5	230.0	50.0	381.5	14	83.0	34	464.5
5 月	23	98.5	177.5	38.0	314.0	14	80.0	37	394.0
6 月	22	96.0	172.5	41.5	310.0	14	83.0	36	393.0
7 月	24	127.5	180.5	35.5	343.5	13	74.0	37	417.5
8 月	19	88.5	171.5	23.0	283.0	12	68.0	31	351.0
9 月	19	125.0	168.0	21.5	314.5	12	67.0	31	381.5
10 月	19	98.5	164.0	22.5	285.0	13	78.0	32	363.0
11 月	16	70.5	146.0	21.0	237.5	14	84.0	30	321.5
12 月	19	64.0	123.5	22.0	209.5	12	70.0	31	279.5
1 月	14	61.5	72.5	19.0	153.0	13	76.0	27	229.0
2 月	14	58.5	85.5	20.0	164.0	17	88.0	31	252.0
3 月	16	75.0	116.5	22.5	214.0	15	86.0	31	300.0
R4 期間計	225	1,065	1,808	336.5	3,209.5	163	937	388	4,146.5
R3 期間計	319	1,264	2,468	696	4,428	159	934	478	5,362
増 減	△94	△199	△660	△359.5	△1,218.5	4	3	△90	△1,215.5

5 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月16日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・看取りを考える ・デスカンファレンス	14名
5月21日	・利用者情報、支援変更、連絡事項、モニタリング集計 ・感染症 ・食中毒予防について	14名
6月11日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・事例検討	14名
7月9日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・高齢者緊急対応・夏の病気と怪我・生化学検査データ	14名
8月13日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・新型コロナの対応について	15名
9月10日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・ラインミーティング機能の活用について	14名
10月15日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・アルコール検知器義務化・認知症に関する基本的理解	11名
11月12日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・ヒヤリハット研修	13名
12月17日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・コロナ抗原検査・就業規程の一部改正について	13名
1月14日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・医療ひっ迫防止対策強化宣言について	15名
2月17日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・障害者虐待防止法の理解と対応	15名
3月11日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・マスク着用について・R5年訪問介護個別研修計画作成	15名

6 その他

今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延と医療ひっ迫防止対策強化宣言が発令されたため、従業者に週2回の抗原検査を行った。また、陽性の身体介護が必要な利用者に対しては、保健所の指示に従い感染対策を万全にして1日2回の支援を行った。長泉町の小学校にて介護体験学習講習会や住民助け合い事業の介護講習会に参加し介護の啓発を行った。静岡県ホームヘルパー連絡協議会の役員を2任期努めた。

【事業の成果と課題】

ここ数年、増加傾向にあった要介護者の利用者数、派遣時間が減少した。施設入所や看取りが続く、新規の要介護者の依頼がなかったためである。総合事業の依頼は増加傾向にあるので、事業継続できるよう新規の依頼を受けている。また、施設入所される利用者については、家族の就労都合や介護疲れ等の理由等もあったため、利用者が最期まで住み慣れた地域で在宅生活が送れるよう、利用者の重度化防止に努め、自立した在宅生活が継続できるよう介護支援専門員と共に地域包括ケアの実現に向けて支援していく。2024年の医療・介護・障害福祉の改定に備え、国等の動向に注視し事業に支障が生じないよう準備を進めていく。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、豊かな生活を実現するため、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、
⑤ 身体の清拭、⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、
④ 生活必需品の買い物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人、時間)

	身体障がい者				知的障がい者				精神障がい者				合計		
	利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間		利用者数	派遣回数	派遣時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	15	278	261.5	41.0	5	37	24.0	17.0	6	39	13.5	36.0	26	354	393.0
5月	13	284	273.5	42.5	5	37	23.0	16.5	6	38	12.0	34.0	24	359	401.5
6月	15	290	281.0	44.0	6	37	23.0	18.5	7	39	13.0	38.0	28	366	417.5
7月	14	309	294.5	42.5	5	35	22.0	19.0	6	38	12.5	34.5	25	382	425.0
8月	15	309	286.5	53.0	4	34	16.5	17.0	7	50	17.0	41.0	26	393	431.0
9月	15	308	274.0	53.0	5	35	24.5	17.5	7	41	18.5	35.5	27	384	423.0
10月	16	326	302.5	57.0	4	35	20.0	18.5	6	41	19.0	35.5	26	402	452.5
11月	17	302	301.5	49.5	4	34	25.0	18.0	6	38	18.5	32.5	27	374	445.0
12月	16	300	287.0	56.0	5	35	20.0	19.0	6	39	20.0	33.0	27	374	435.0
1月	16	250	254.0	51.0	4	34	20.0	18.5	6	38	20.0	32.0	26	322	395.5
2月	14	244	223.5	45.5	5	32	19.0	20.0	8	48	20.0	47.5	27	324	375.5
3月	14	280	291.5	57.0	5	40	20.5	25.5	7	50	24.0	43.5	26	370	462.0
R4計	180	3,480	3,331	592.0	57	425	257.5	225.0	78	499	208.0	443.0	315	4,404	5,056.5
R3計	191	3,512	3,455	517.5	57	447	44.5	400.5	91	503	147.5	452.5	339	4,462	5,017.5
増減	△11	△32	△124	74.5	0	△22	213	△175.5	△13	△4	60.5	△9.5	△24	△58	39

【事業の成果と課題】

入退院を繰返し、在宅復帰された利用者やグループホームに2名入所された。派遣時間は身体介護が増加したため収支は増加した。町内の相談支援事業所も増え、今後も新規依頼があると思われる。町内の障がいサービス（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）がないので、障がい者の支援（身体・知的・精神）については今後も障がいの特性を理解し、支援を行っていく。また、長泉町自立支援協議会員として部会に参加し、障害者週間のPR活動を行った。

3－6 移動支援事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

(2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	6	9	22.5
5月	6	14	26.5
6月	9	12	31.5
7月	8	14	30.0
8月	5	11	26.0
9月	6	9	21.0
10月	6	12	32.5
11月	11	20	40.0
12月	11	18	45.0
1月	8	14	32.5
2月	10	18	36.5
3月	11	31	71.0
R4 期間計	97	182	415.0
R3 期間計	71	135	343.5
増 減	26	47	71.5

【事業の成果と課題】

今期も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外出を控えた傾向はあったが、移動支援を希望する要介護者や障がい者、児の新規依頼は増加した。移動支援は長泉町の地域生活支援事業で、若齢層の利用者や難病等で移動が困難な利用者のため、歩行介助～車椅子での移動等で幅広いニーズがある。福祉保険課や相談支援事業所、居宅介護支援事業所と連携を図り、支援を行った。

3—7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練）
③ 機能訓練、④ 給食サービス、⑤ 入浴サービス、⑥ 送迎サービス

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用延人数	主な行事等
4月	20	9	43	鯉のぼりの壁画作り・桜の壁画作り
5月	19	9	44	カブトムシ作り
6月	22	9	55	紫陽花の壁画作り
7月	20	9	44	七夕の短冊飾りつけ・蝉作り
8月	19	10	48	朝顔の壁画作り
9月	20	10	45	葡萄の壁画作り、ススキ作り
10月	20	10	42	ハロウィンの壁画作り
11月	20	9	50	クリスマスツリー作り
12月	20	9	54	羽子板作り
1月	19	9	60	お正月の習字・雪だるま作り
2月	19	9	47	節分の鬼作り
3月	22	9	55	桜の壁画作り
R4 合計	240	111	587	
R3 合計	238	110	587	
増減	2	1	0	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：コロナ感染拡大防止のため外出活動は自粛
- (2) 趣味活動：書道、パズル、絵画
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操
- (5) 作業療法的活動：脳トレ、ペグボード、スキルビーズ

【事業の成果】

新規利用者が2名増えたが、1名は3ヶ月程利用され、家族の都合により障がい者施設に入所となった。

日中の活動として、興味を示す活動が個々で異なることから、個々の希望に沿った活動をした。また、完成した作品を通路に展示することにより、利用者がお互いの活動や作品に関心を持ち刺激にもなった。

大人の塗り絵大会に参加され、入選は逃したものの、今後の生活の生きがい作りにつながった。

新型コロナウイルス感染症対策として、送迎前検温の実施、到着時の手洗い消毒、居室及び送迎車の換気等を徹底した。利用者同士の距離を保った。

今後も利用者及び職員の検温、手洗い、手指消毒、居室及び送迎車の換気等、基本的な感染症対策を徹底して実施していく。

Ⅱ 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1－1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、既存の福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。当会は、町の指定管理者として、施設利用による住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を月曜日から土曜日まで開館し、各種団体の会議や研修会等に施設を提供した。

2 管理業務の状況

(1) 総合清掃管理業務

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リノリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）、タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

(2) 総合設備管理業務

① 施設巡回保守点検業務

② 空調設備保守点検業務

③ 給水設備保守点検業務

④ 排水設備保守点検業務

⑤ 消防設備保守点検業務

⑥ 昇降機設備保守点検業務

⑦ 自動扉設備保守点検業務

(3) 衛生管理業務

① 室内空気環境測定業務

② 害虫等防除業務

③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

④ 湯水（レジオネラ菌）検査

(4) 夜間機械警備業務（毎日）

(5) 電気保安業務（月1回）

3 施設利用状況（令和4年4月～令和5年3月）

(1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4 月	6	16	0	4	8,000
5 月	6	15	0	3	12,000
6 月	4	17	1	3	10,800
7 月	5	10	0	4	10,000
8 月	5	8	0	3	8,000
9 月	6	10	0	5	14,000
10 月	6	13	0	6	14,000
11 月	11	13	1	6	10,000
12 月	9	13	1	4	31,600
1 月	7	9	0	3	12,000
2 月	7	21	1	4	16,800
3 月	11	17	1	6	22,800
R4 期間計	83	162	5	51	170,000
R3 期間計	48	105	6	31	104,800
増 減	35	57	△1	20	65,200

* 夜間貸出なし

(2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合 計
		有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	
4 月	26	93	282	375	0	38	38	413
5 月	25	82	335	417	0	14	14	431
6 月	26	72	292	364	9	42	51	415
7 月	26	70	216	286	0	35	35	321
8 月	27	68	119	187	0	28	28	215
9 月	27	77	154	231	0	36	36	267
10 月	26	78	225	303	0	45	45	348
11 月	26	289	205	494	5	37	42	536
12 月	23	197	271	468	7	52	59	527
1 月	23	114	387	501	0	26	26	527
2 月	24	145	414	559	7	30	37	596
3 月	27	178	320	498	10	64	74	572
R4 期間計	306	1,463	3,220	4,683	38	447	485	5,168
R3 期間計	274	625	1,800	2,425	22	191	213	2,638
増 減	32	838	1,420	2,258	16	256	272	2,530

【新型コロナウイルスまん延防止対策の経緯】

町公共施設として新型コロナウイルス感染症対策について、町と協議し、感染状況レベルに応じて利用を制限しながら開館した。

・現状（3月22日からの制限）

「会議形式」の利用は定員、「体操・ダンス・発声や歌唱、吹奏楽器の演奏等」における利用は定員の1/2までとする

※利用定員について

会議室等	従来の定員数	収容定員数の1/2	利用時間
集会室	120人	60人	9:00～12:30
研修室	30人	15人	13:00～16:30

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量				水道光熱費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス 給湯 (単位：m³)	都市ガス 空調 (単位：m³)	上下水道 (単位：m³)	
4 月	18, 130	1, 635	1, 290		619, 356
5 月	16, 840	1, 439	1, 224	858	764, 121
6 月	18, 938	1, 507	2, 081		706, 386
7 月	19, 107	1, 270	2, 994	889	987, 303
8 月	20, 681	1, 260	4, 705		1, 022, 112
9 月	21, 168	1, 260	4, 100	980	1, 215, 293
10 月	17, 237	1, 433	2, 288		823, 220
11 月	13, 986	1, 550	531	884	801, 249
12 月	14, 213	1, 671	842		745, 113
1 月	16, 758	1, 588	1, 755	766	1, 141, 653
2 月	43, 923. 6	1, 784	2, 081		940, 733
3 月	30, 949	1, 740	1, 343	862	847, 625
R4 期間計	251, 930. 6	18, 137	25, 234	5, 239	10, 614, 164
R3 期間計	206, 680. 0	19, 038	19, 990	5, 735	9, 659, 703

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	5 0 0 万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	4, 0 0 0 円	事故の日から 180 日を限度とする。
手術	外 来 2 0, 0 0 0 円 入院中 4 0, 0 0 0 円	1 事故に対して 1 回とする。
通院日額	2, 5 0 0 円	事故の日から 180 日の間のうち、90 日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

① 危険物安全週間における訓練

実施日：令和4年6月6日（月）から6月11日（土）

参加者：職員 19 名

内 容：避難経路、館内消火器、消火栓配置を作成済の図面を基に
現状を各自確認。相違点を修正した。

② 社会福祉施設防災の日における訓練

実施日：令和4年11月1日（火）

参加者：職員 25 名

内 容：震度5以上の地震発生時における利用者避難誘導訓練と、
福祉避難所の開設にあたっての運営マニュアル等確認訓練を行った。

③ 春の火災予防運動における訓練

実施日：令和5年3月1日（月）から3月7日（水）

参加者：職員 29 名

内 容：消火設備、通報手順、避難経路、地震対策をチェック表を基に
各自確認、周知した。

6 修繕等実施状況（10万円以上）

（単位：円）

項 目	金 額	内 容
2 階居室カーテン取替工事	404,087	遮光カーテン更新
誘導灯設備交換工事	847,000	電球切れ、照度不良箇所 LED 改修
1 階中庭窓ロールカーテン取付工事	151,800	遮光用ロールカーテン取付
職員駐車場修繕工事	785,400	乗入口アスファルト延長、区画線改修
職員駐車場砕石部修繕工事	994,400	砕石補充、均し
1・2 号機エレベータ修繕工事	198,000	制御盤内ブレーキリレー、電灯用バッテリー交換
誘導灯交換工事	114,400	2 階浴室前誘導灯 LED 改修
ウォシュレット取替工事	203,500	1 階リハビリテーション室内トイレ便座改修
アトリウム漏水補修工事	410,300	天井窓コーキング劣化部補修
トイレ手摺取付工事	108,900	1・3 階和式トイレ内補助手摺取付

【事業の進捗状況】

感染症対策のための利用制限を緩和し、休館することなく開所できたため利用状況は回復傾向が見られた。よって、集会室・研修室共に前年同期比で増加となった。

今後も引き続き、「安心・安全の確保」を第一に利用状況の回復に努め、サービスの向上に取り組んでいく。

管理に係る費用としては、稼動燃料が灯油（燃料費）から都市ガス（水道光熱費）

へ変更になり、経費節減効果を期待していたが、常時、節電等により適切な管理運営に努めたが、ウクライナ情勢や円安の影響などによるエネルギー価格高騰に伴う光熱費増加のため、会計に大きな影響が出た。しかしながら、長泉町より追加の受託金を受けることで、他への影響なく事業を終えることができた。今後も動向に注意し、全体での支出の削減に努めていく。

1ー2 在宅福祉総合センター食堂事業

1 事業目的

在宅福祉総合センター食堂事業は、一般食堂及びデイサービスの給食を提供している。また、地域住民の憩いの場としての役割も果たしている。

2 職員の概要

管理栄養士1名 調理員2名（うち1名 障害者雇用）

3 一般食堂食数内訳及び売上金収入

月	定食	カレー・ 麺類他	惣菜	調理員 昼食	検食	その他	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)	サビ・スケット 利用者 延人数 (単位：校)
4月	93	0	0	20	26	0	139	73,400	1
5月	93	0	0	19	26	2	140	74,200	6
6月	78	0	0	22	26	5	131	70,150	7
7月	81	0	0	19	26	0	126	66,900	0
8月	77	0	0	19	27	3	126	67,500	6
9月	78	0	0	20	26	0	124	65,900	2
10月	82	0	0	20	26	0	128	68,550	8
11月	93	0	0	21	26	1	141	74,550	5
12月	53	0	0	21	23	0	97	51,950	1
1月	65	0	0	8	24	2	99	53,400	10
2月	58	0	0	12	24	2	96	51,900	15
3月	103	0	0	12	27	4	146	77,650	12
R4 期間計	954	0	0	213	307	19	1,493	796,050	73
R3 期間計	830	4	1,270	226	303	16	2,649	823,774	10
増減	124	△4	△1,270	△13	4	3	△1,156	△27,724	63

4 デイサービス給食売上食数内訳及び売上金収入

月	通所介護 事業 (単位：食)	認知症対応型 通所介護事業 (単位：食)	地域活動 支援センター (単位：食)	合 計 (単位：食)	売上金 (単位：円)
4 月	257	99	59	415	269,750
5 月	264	99	59	422	274,300
6 月	288	102	64	454	295,100
7 月	262	99	59	420	273,000
8 月	268	104	53	425	276,250
9 月	264	80	52	396	257,400
10 月	278	87	57	422	274,300
11 月	285	142	58	485	315,250
12 月	275	93	49	417	271,050
1 月	255	84	53	392	254,800
2 月	259	79	52	390	253,500
3 月	303	84	57	444	288,600
R4 期間計	3,258	1,152	672	5,082	3,303,300
R3 期間計	3,470	1,662	531	5,663	3,680,950
増 減	△212	△510	141	△581	△377,650

5 給食ボランティア参加状況

感染症対策のため、各種ボランティアの受け入れを休止している。

6 実習生受け入れ

受入期間	実習依頼団体	内容	人数
8 月 22 日～26 日	日本大学短期大学部	栄養士実習	5
11 月 7 日～11 日	小田原短期大学	栄養士実習	1

【事業の進捗状況】

引き続き感染症対策として給食ボランティア受け入れを休止している。

食堂は席数を10席に減数し、感染症対策を行った上で販売数を5食限定にて営業した。令和5年3月13日以降、マスクの着用が個人の判断に委ねられたことから、全座席を開放した。

デイサービスの利用者減少の影響もあり、売上げは昨年度より減少となった。

実習生の受け入れは、感染症対策のため事前に健康観察を行った上で行った。来期は管理栄養士不在となるため、実習生受け入れは行わない。

赤字経営であるため、調理員の実働人数、時間を見直し営業した。同時に、

仕入れ業者の廃業や食材の高騰を受け加工済食材を導入し、人件費及び材料費の支出削減に努めた。引き続き職員の配置や赤字経営の課題を検討し、事業見直しを行う。

事業報告の附属明細書

令和５年度事業報告には、社会福祉法施行規則第２条の２５第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会